



「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより

令和7年2月10日 No. 1

「はじめまして！新任校長です！」



新任校長の「小野 桂(おの けい)」と申します。

非常にめずらしい、年度途中からの着任となりました。1月末までは万寿(ます)小学校で副校長をしておりました。何かと不慣れではありますが、子どもたちが毎日楽しく勉強ができるように一生懸命に働いてまいります。

保護者のみなさまには、これまでと同様に、ご理解とご協力を賜りたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3日の朝は体育館で着任式が行われました。「だれが来たのだろう」と不思議がる子どもたちの前であいさつをいたしました。

話の中で「校歌の歌詞の中で1番大切な言葉は何か」と問いかけました。子どもたちがあれこれ口にする中で「ヒントは、3番までで何回も繰り返されている言葉です」と言葉をつなぎました。

校歌の中には「たのしい」が6回登場します。「たのしいたのしい学校」になっていくようにという願いがそこには込められていると感じます。単におもしろおかしい「楽しさ」ではなく、安心して学べる環境と主体的に学べる授業が先生と子どもとでつくり上げられたらよいと考えています。



その後、児童朝会でした。そのまま、また登壇させてもらう流れでしたので、節分にちなんで「鬼の面」をかぶって出ました。

「『鬼』は想像上の生き物です。人の心の中に住んでいます。みんなの心の中にある追い出したい『鬼』はありませんか？」と問いかけました。「つい怠けてしまう」「なんだか散らかしっぱなし」「うっかり忘れ物」といった「弱い心」の部分が「鬼」になっているので追い出そう、と話をまとめています。

節分は、豆をまき、健康を祈願する行事ですが、そんなものの見方ももってもらえたらいいな、と思っています。